

5

BIOS セットアップについて

本章では、BIOS セットアッププログラムの使い方と機能について説明します。BIOS セットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録 / 削除などができます。

1	BIOS セットアップとは.....	146
2	BIOS を工場出荷時設定に戻すには	151
3	Standard CMOS Features の詳細	152
4	Advanced BIOS Features の詳細	155
5	Advanced Chipset Features の詳細 ...	158
6	Integrated Peripherals の詳細	160
7	Power Management Setup の詳細	164
8	PnP/PCI Configurations の詳細	169
9	PC Health Status の詳細	170
10	Frequency/Voltage Control の詳細	171
11	Password の設定	173
12	工場出荷時の設定値 / 既定値	175

① BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使い方などを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設やハードディスク装置の増設等の変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗すると BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



メモ

・ BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目 / 説明の表示はありません。

① BIOS セットアップの起動方法

1 電源を入れた直後（起動時）に **Delete** キーを押す

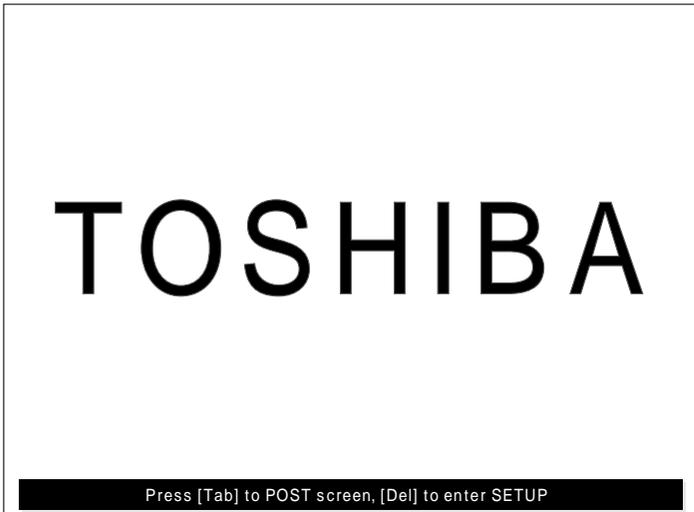
起動時に、次の「TOSHIBA」画面が表示されます。目安として、この画面表示中に **Delete** キーを押します。



お願い

・ **Delete** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に **Delete** キーを押さないと、システムが起動します。

BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行なってパソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。



TOSHIBA

Press [Tab] to POST screen, [Del] to enter SETUP

2 BIOS セットアップの操作方法

● BIOS セットアップ画面について



● 使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

キー

1 つ前の項目に移動します。

キー

1 つ先の項目に移動します。

キー

左のメニューに移動します。

キー

右のメニューに移動します。

Enter キー

メニューで選択したサブメニューを表示します。

PageUp、 キー

項目の選択値を 1 つ前の値に変更します。

PageDown、**+** キー

項目の選択値を 1 つ後の値に変更します。

F10 キー

メインメニューで現在の設定を保存し (CMOS-RAM に書き込み)、BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。

F10 キーを押すと「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ?」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は **Y** キーを、保存しないでセットアップを続ける場合は **N** キーを押します。

Esc キー

メインメニューでは、設定を保存せずに終了する画面が表示されます。サブメニューでは、メインメニューに戻ります。

Esc キーを押すと「Quit without saving (Y/N) N?」というメッセージが表示されます。設定を保存せずに終了する場合は **Y** キーを押してから **Enter** キーを、セットアップを続ける場合は **Esc** キーを押します。

F1 キー

サブメニュー画面で BIOS セットアップの説明と操作方法 ([General Help]) を表示します。

[General Help] を閉じるには、**Esc** キーを押します。

F5 キー

最後に保存された設定値に戻します。設定を元に戻す場合は **Y** キーを押してから **Enter** キーを、戻さないでセットアップを続ける場合は **Esc** キーを押します。

F6 キー

表示しているメニューの BIOS セットアップのトラブル対応用の既定値を呼び出します。システムが正常に動かなくなってしまった場合のみ使用します。

F7 キー

表示しているメニューの BIOS セットアップの内容を既定値にします。既定値を呼び出す場合は **Y** キーを押してから **Enter** キーを、呼び出さないでセットアップを続ける場合は **Esc** キーを押します。



お願い

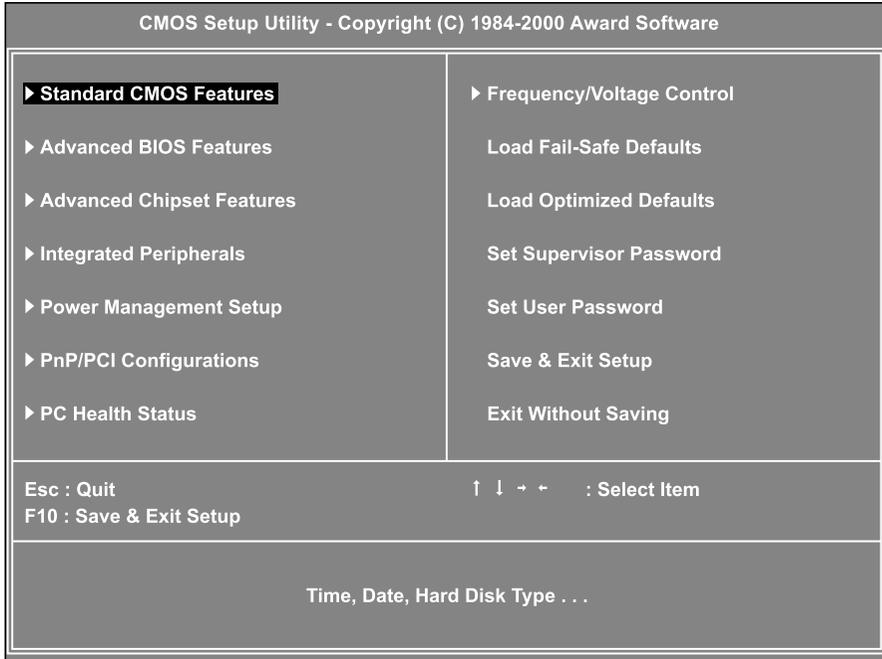
・工場出荷時の設定は、既定値と [Power Management Setup] メニューの次の点異なります。[Power Management Setup] メニューを工場出荷時の状態に戻す場合は、1 度 **F7** キーで既定値に戻し、工場出荷時の設定値に変更してから保存してください。

- ・[Soft-off by PWR-BTTN] の設定
既定値 : [Delay 4 Sec.] 工場出荷時 : [Instant-off]
- ・[Wake-Up by PME] の設定
既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]
- ・[Power On by Ring] の設定
既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]
- ・[Wake Up On LAN] の設定
既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]

☞ 詳細について ⇨ 「本章 12 工場出荷時の設定値 / 既定値」

3 BIOS セットアップの内容

メインメニューは次のような画面です。



BIOS セットアップには次のサブメニューがあります。

Standard CMOS Features

日付や時間などを設定します。

Advanced BIOS Features

起動する装置や、ディスプレイの表示などを設定します。

Advanced Chipset Features

チップセットの設定をします。

Integrated Peripherals

周辺機器の設定をします。

Power Management Setup

省電力などの設定をします。

PnP/PCI Configurations

プラグアンドプレイの設定をします。

PC Health Status

本装置の動作状態を表示します。

Frequency/Voltage Control

CPU やメモリクロックを設定します。

Load Fail-Safe Defaults

設定を BIOS の既定値 (トラブル対応用) に戻します。

システムが正常に動かなくなってしまった場合のみ使用します。

Load Optimized Defaults

BIOS セットアップの内容を既定値に戻します。



お願い

・工場出荷時の設定は、既定値と [Power Management Setup] メニューの次の点が異なります。 [Power Management Setup] メニューを工場出荷時の状態に戻す場合は、 [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻し、工場出荷時の設定値に変更してから保存してください。

・ [Soft-off by PWR-BTTN] の設定

既定値 : [Delay 4 Sec.] 工場出荷時 : [Instant-off]

・ [Wake-Up by PME] の設定

既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]

・ [Power On by Ring] の設定

既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]

・ [Wake Up On LAN] の設定

既定値 : [Enabled] 工場出荷時 : [Disabled]

☞ 詳細について ⇨ 「本章 12 工場出荷時の設定値 / 既定値」

Set Supervisor Password

スーパーバイザパスワードの設定・変更をします。

Set User Password

ユーザパスワードの設定・変更をします。

Save & Exit Setup

設定した内容を CMOS に保存し、セットアップを終了します。

Exit Without Saving

CMOS の内容を変更せずにセットアップを終了します。

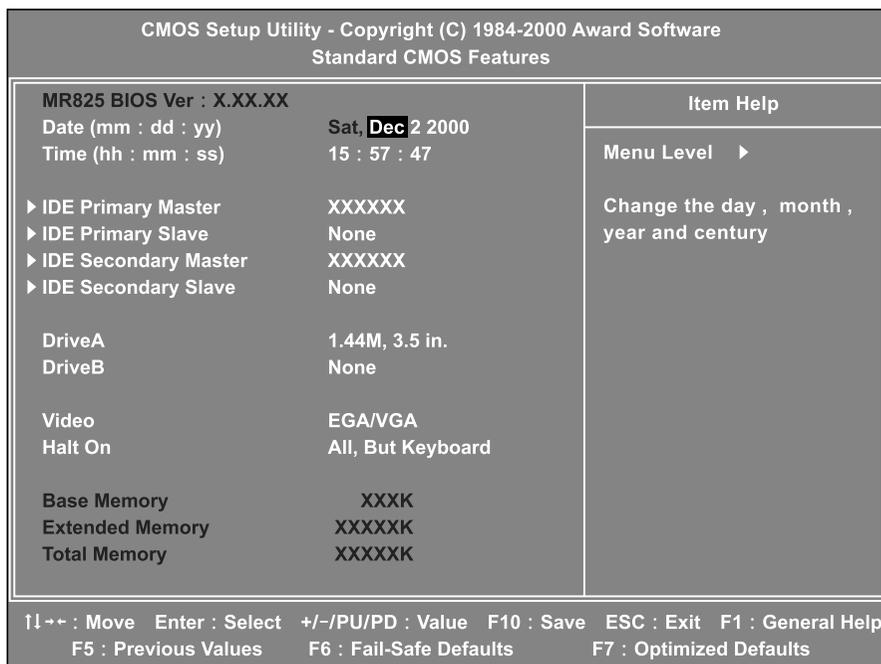
なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

2

BIOS を工場出荷時設定に戻すには

- 1** BIOS セットアップを起動する
☞ BIOS セットアップの起動方法 ☞ 「本章 1-1 BIOS セットアップの起動方法」
- 2** メインメニューより「Load Optimized Defaults」を選択し、**[Enter]** キーを押す
「Load Optimized Defaults (Y/N) ? N」というメッセージが表示されます。
- 3** **[Y]** キーを押す
設定値を戻さずにセットアップを続ける場合は、**[N]** キーを押します。
- 4** **[Enter]** キーを押す
- 5** 各項目を工場出荷時の設定にする
☞ 工場出荷時の設定値 ☞ 「本章 12 工場出荷時の設定値 / 既定値」
- 6** **[F10]** キーを押す
「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ? Y」のメッセージが表示されます。
- 7** **[Y]** が選択されていることを確認し、**[Enter]** キーを押す
変更した設定を保存して終了します。

日時の設定、フロッピーディスク装置、ハードディスク装置の設定などを行います。



(注) 画面は一例です。

Date (mm/dd/yy)

年 (西暦) 月日を設定します。

[月/日/年]の項目移動には、 キーまたは Tab キーを使います。

Time (hh/mm/ss)

時刻 (24 時間単位) を設定します。

[時 : 分 : 秒]の項目移動には、 キーまたは Tab キーを使います。

IDE Primary Master | IDE Primary Slave

IDE Secondary Master | IDE Secondary Slave

IDE インタフェース上の装置を設定します。

- IDE Primary Master.....メインボード上の第1 (Primary) IDE インタフェースのマスター (Master)
- IDE Primary Slaveメインボード上の第1 (Primary) IDE インタフェースのスレーブ (Slave)
- IDE Secondary Master ..メインボード上の第2 (Secondary) IDE インタフェースのマスター (Master)
- IDE Secondary Slave ...メインボード上の第2 (Secondary) IDE インタフェースのマスター (Master)

本装置は、標準状態でハードディスク装置が [IDE Primary Master] に、CD-ROM 装置が [IDE Secondary Master] に設定されています。

[Enter] キーを押すと、次の項目が表示されます。

IDE Primary Master, IDE Primary Slave, IDE Secondary Master, IDE Secondary Slave

IDE 装置のタイプを設定します。

- None 使用しない
- Auto 自動設定
- Manual HDD のパラメータを設定することができます。



お願い

・[Auto] 以外の設定に変更するとドライブを認識できなくなることがあります。通常は変更しないでください。

Access Mode

アクセスモードを設定します。

- CHS
- LBA
- Large
- Auto

Drive A | Drive B

フロッピーディスク装置 A、B のタイプを設定します。

本装置は標準で、ドライブ (装置) A に [1.44/1.25MB 3.5in] タイプのフロッピーディスク装置を搭載しています。

- None なし
- 360K 5.25in 5 型 360KB フロッピーディスク
- 1.2M 5.25in 5 型 1.2MB フロッピーディスク
- 720K 3.5in 3.5 型 720KB フロッピーディスク
- 1.44M 3.5in 3.5 型 1.44MB フロッピーディスク
- 2.88M 3.5in 3.5 型 2.88MB フロッピーディスク

Video

ディスプレイモニタの種類とディスプレイアダプタを指定します。

- EGA/VGA
- CGA40
- CGA80
- MONO

Halt On

周辺機器などに異常が検出されたときに、パソコンを停止します。異常を検出する周辺機器などを設定します。

- ・ All Errors すべて検出する
- ・ No Errors すべて検出しない
- ・ All,But Keyboard キーボード以外すべて検出する
- ・ All,But Diskette フロッピーディスク装置以外すべて検出する
- ・ All,But Disk/Key キーボード、フロッピーディスク装置以外すべて検出する

Base Memory

システムメモリ量を表示します。(表示のみ)

Extended Memory

拡張メモリ量を表示します。(表示のみ)

Total Memory

システムの総メモリ量を表示します。(表示のみ)

起動する装置の順番や周辺装置についての設定を行います。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software Advanced BIOS Features		
Virus Warning	Disabled	Item Help
CPU Internal Cache	Enabled	Menu Level ▶ Allows you to choose the VIRUS warning feature for IDE Hard Disk boot sector protection. If this function is enabled and someone attempt to write data into this area, BIOS will show a warning message on screen and alarm beep
External Cache	Enabled	
CPU L2 Cache ECC Checking	Enabled	
Processor Number Feature	Disabled	
First Boot Device	Floppy	
Second Boot Device	CDROM	
Third Boot Device	HDD-0	
Boot Other Device	Enabled	
Swap Floppy Drive	Disabled	
Boot Up Floppy Seek	Disabled	
Boot Up NumLock Status	On	
Security Option	System	
↑↓←→ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults		

(注) 画面は一例です。

Virus Warning

ハードディスクのブートセクタを書き換えるプログラムやウイルスを発見した場合に警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

- Enabled メッセージを表示する
- Disabled メッセージを表示しない

CPU Internal Cache

CPU の 1 次キャッシュを有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 無効にする
- Enabled 有効にする

External Cache

2 次キャッシュを有効にするかどうかの設定をします。

- Disabled 無効にする
- Enabled 有効にする

CPU L2 Cache ECC Checking

2 次キャッシュのエラーチェックを行うかどうかの設定をします。

- Enabled ECC を使用する
- Disabled ECC を使用しない

Processor Number Feature

プロセッサシリアルナンバーを有効にするかどうかを設定をします。

- Enabled 有効にする
- Disabled 無効にする

First Boot Device | Second Boot Device | Third Boot Device

起動するドライブの順番を指定できます。

- Floppy
- LS120
- HDD-0
- SCSI
- CDROM
- HDD-1
- HDD-2
- HDD-3
- ZIP100
- LAN
- Disabled

Boot Other Device

その他の装置から起動するかどうかを設定します。

- Disabled 起動しない
- Enabled 起動する

Swap Floppy Drive

フロッピーディスク装置が2つある場合、Bドライブからの起動ができるかどうかを設定します。

- Disabled 起動不可
- Enabled 起動可能

Boot Up Floppy Seek

起動時にフロッピーディスク装置の有無をチェックするかどうかの設定をします。

- Disabled チェックしない
- Enabled チェックする

Boot Up NumLock Status

パソコン本体が起動する際にキーボードのテンキーが使用できる状態 (NumLock 状態) にするかどうかを設定します。

- Off NumLock 状態にしない
- On NumLock 状態にする

Security Option

起動時にパスワードの入力を求めるかどうかの設定をします。

[Set Supervisor Password] または [Set User Password] でパスワードが設定されている場合のみ有効です。

- Setup BIOS セットアップを起動するたびにパスワード入力画面を表示する
- System パソコンを起動するたびにパスワード入力画面を表示する

周辺機器や本装置のチップセットの設定を行います。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software		Advanced Chipset Features	
SDRAM CAS Latency Time	3	Item Help	
SDRAM Cycle Time Tras/Trc	7/9	Menu Level ▶	
SDRAM RAS-to-CAS Delay	3		
SDRAM RAS Precharge Time	3		
System BIOS Cacheable	Disabled		
Video BIOS Cacheable	Disabled		
Memory Hole At 15M-16M	Disabled		
CPU Latency Timer	Enabled		
Delayed Transaction	Enabled		
On-Chip Video Window Size	64MB		
AGP Graphics Aperture Size	64MB		
System Memory Frequency	Auto		
↑↓←→ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help			
F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults			

(注) 画面は一例です。

SDRAM CAS Latency Time

メインメモリの CAS Latency を設定します。設定単位はクロックです。

- ・ 2
- ・ 3

SDRAM Cycle Time Tras/Trc

メインメモリのサイクルタイム (Tras、Trc) を設定します。設定単位はクロックです。

- ・ 5/7
- ・ 7/9

SDRAM RAS-to-CAS Delay

RAS 信号から CAS 信号を出力するときの遅延時間を設定します。設定単位はクロックです。

- ・ 3
- ・ 2

SDRAM RAS Precharge Time

メインメモリのプリチャージ時間を設定します。設定単位はクロックです。

- ・ 3
- ・ 2

System BIOS Cacheable

システム BIOS の内容を、2 次キャッシュへ読み込むことを許可または禁止します。

- Disabled 禁止
- Enabled 許可

Video BIOS Cacheable

VIDEO BIOS の内容を、2 次キャッシュへ読み込むことを許可または禁止します。

- Disabled 禁止
- Enabled 許可

Memory Hole At 15M-16M

15M ~ 16M のメモリ空間をオプションカード用に割り当てるかどうかを設定します。

- Disabled 割り当てない
- Enabled 割り当てる

CPU Latency Timer

CPU Latency Timer を使用するかどうかを設定します。

- Disabled 使用する
- Enabled 使用しない

Delayed Transaction

ディレイドトランザクションの設定を行うかどうかを設定します。

- Disabled 行わない
- Enabled 行う

On-Chip Video Window Size

ディスプレイメモリの容量を指定します。この設定は、メインボード上のビデオチップ用です。

- 64MB
- 32MB
- Disabled

AGP Graphics Aperture Size

AGP のアパーチャサイズを指定します。

- 64MB
- 32MB

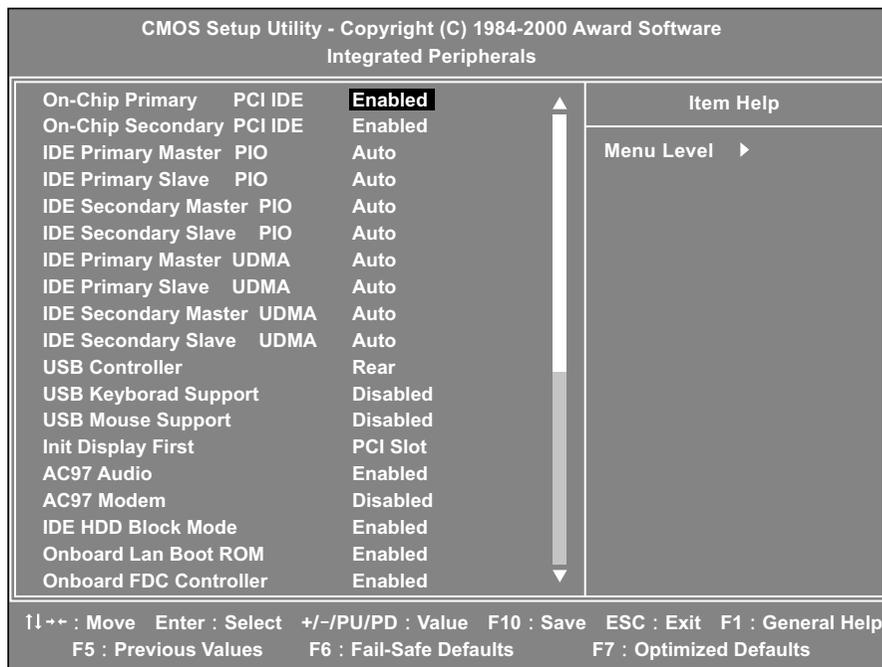
System Memory Frequency

メインメモリで使用する DIMM の周波数を指定します。

- 100MHz
- 133MHz
- Auto

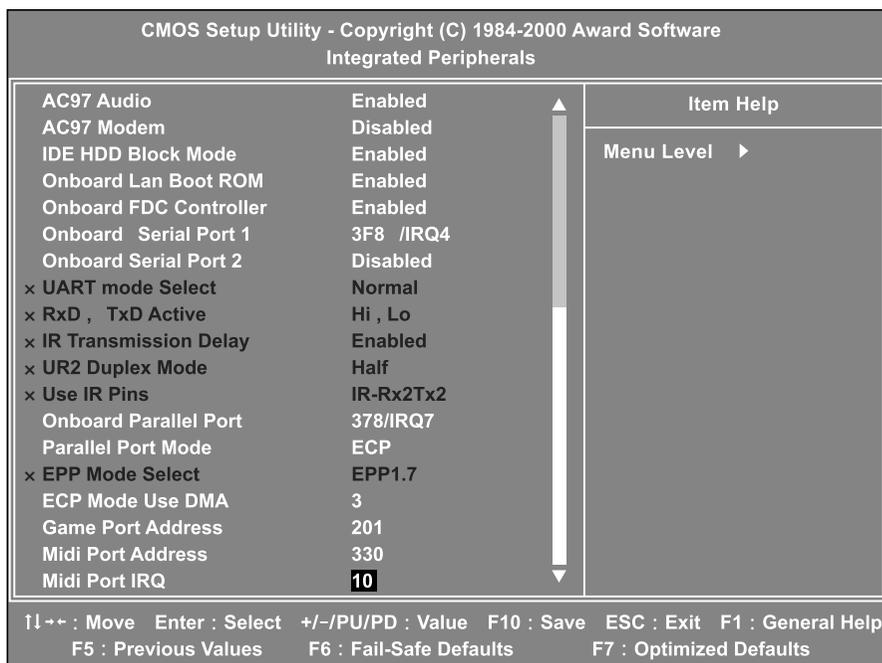
パソコンが起動する際の設定を行います。

画面上部



(注) 画面は一例です。

画面下部



(注) 画面は一例です。

On-Chip Primary PCI IDE | On-Chip Secondary PCI IDE

それぞれの PCI ローカルバスの IDE コントローラを有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 無効にする
- Enabled 有効にする

IDE Primary Master PIO, IDE Primary Slave PIO

[On-Chip Primary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、PIO のモードを設定できます。

- Auto 自動的に割り当てる
- Mode 0 ~ Mode 4

IDE Secondary Master PIO, IDE Secondary Slave PIO

[On-Chip Secondary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、PIO のモードを設定できます。

- Auto 自動的に割り当てる
- Mode 0 ~ Mode 4

IDE Primary Master UDMA, IDE Primary Slave UDMA

[On-Chip Primary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、UDMA を有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 無効にする
- Auto 有効にし、自動的に割り当てる

IDE Secondary Master UDMA, IDE Secondary Slave UDMA

[On-Chip Secondary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、UDMA を有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 無効にする
- Auto 有効にし、自動的に割り当てる

USB Controller

有効な USB コネクタを指定します。

- Rear
- Front
- All
- Disable

USB Keyboard Support | USB Mouse Support

USB キーボードおよび USB マウスを有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 無効にする
- Enabled 有効にする

Init Display First

起動画面を表示するグラフィックカードを選択します。

- PCI Slot
- Onboard/AGP

AC97 Audio

メインボードのオーディオコントローラを使用するかどうかの設定をします。

- Enabled 使用する
- Disabled 使用しない

AC97 Modem

メインボードのモデムコントローラを使用するかどうかの設定をします。

- Enabled 使用する
- Disabled 使用しない

IDE HDD Block Mode

IDE インターフェース上の装置がブロックモードをサポートするかどうかを設定します。

- Disabled サポートしない
- Enabled サポートする

Onboard Lan Boot ROM

内蔵 LAN のブート ROM を使用するかどうかを設定します。

- Enabled 使用する
- Disabled 使用しない

Onboard FDC Controller

メインボードのフロッピードライブコントローラを使用するかどうかを設定します。

- Disabled 使用しない
- Enabled 使用する

Onboard Serial Port 1 | Onboard Serial Port 2

メインボードのシリアルポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- Disabled 使用しない
- 3F8/IRQ4
- 2F8/IRQ3
- 3E8/IRQ4
- 2E8/IRQ3
- Auto

Onboard Parallel Port

メインボードの平行ポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 378/IRQ7
- ・ 278/IRQ5
- ・ 3BC/IRQ7

Parallel Port Mode

平行ポートのモードを設定します。

- ・ SPP
- ・ EPP
- ・ ECP
- ・ ECP+EPP

ECP Mode Use DMA

平行ポートの DMA チャンネルを設定します。

- ・ 1
- ・ 3

Game Port Address

メインボードのゲームポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 201
- ・ 209

Midi Port Address

メインボードの MIDI ポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 330
- ・ 300
- ・ 290

Midi Port IRQ

[Midi Port Address] でベースアドレスを指定したときに、MIDI ポートの IRQ を設定できます。

- ・ 5
- ・ 10

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。

画面上部

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software		Power Management Setup	
ACPI Suspend Type	S3 (STR)	▲	Item Help
Power Management	User Define		Menu Level ▶
Video Off Method	DPMS		
Video Off In Suspend	Yes		
Suspend Type	Stop Grant		
MODEM Use IRQ	NA		
Suspend Mode	Disabled		
HDD Power Down	Disabled		
Soft-Off by PWR-BTTN	Instant-Off		
Wake-Up by PME	Disabled		
Power On by Ring	Disabled		
Wake Up On LAN	Disabled		
PWRON After PWR-Fail	Off		
CPU Thermal-Throttling	50.0%		
Resume by Alarm	Disabled		
× Date (of Month) Alarm	0		
× Time (hh:mm:ss) Alarm	0 0 0		
** Reload Global Timer Events **			
↑↓←→ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help			
F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults			

(注) 画面は一例です。

画面下部

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software		Power Management Setup	
Suspend Mode	Disabled	▲	Item Help
HDD Power Down	Disabled		Menu Level ▶
Soft-Off by PWR-BTTN	Instant-Off		
Wake-Up by PME	Disabled		
Power On by Ring	Disabled		
Wake Up On LAN	Disabled		
PWRON After PWR-Fail	Off		
CPU Thermal-Throttling	50.0%		
Resume by Alarm	Disabled		
Date (of Month) Alarm	0		
Time (hh:mm:ss) Alarm	0 0 0		
** Reload Global Timer Events **			
Primary IDE 0	Enabled		
Secondary IDE 0	Disabled		
Primary IDE 1	Enabled		
Secondary IDE 1	Disabled		
FDD, COM, LPT Port	Disabled		
PCI PIRQ[A-D]#	Disabled	▼	
↑↓←→ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help			
F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults			

(注) 画面は一例です。

ACPI Suspend Type

Windows 98 および Windows 2000 で使用する省電力モードの種類を設定します。

- ・ S1 (POS)
- ・ S3 (STR)



メモ

- ・ 増設するオプションカードや USB 機器によっては、正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードへ復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、[S1 (POS)] に設定してください。

Power Management

パソコン本体の省電力モードのレベルを設定します。

- ・ User Define 省電力モードの設定を任意に設定する
- ・ Min Saving 省電力モードを最小限使用する
- ・ Max Saving 省電力モードを最大限使用する



メモ

- ・ Windows NT モデルには省電力機能はありません。

Video Off Method

ディスプレイの省電力機能を設定します。

- ・ Blank Screen
- ・ DPMS
- ・ V/H SYNC+Blank

Video Off In Suspend

サスペンド中、ディスプレイ表示をオフにするかどうかを設定します。

- ・ No サスペンド中オフにしない
- ・ Yes サスペンド中オフにする

Suspend Type

サスペンドタイプを設定します。

- ・ Stop Grant
- ・ PwrOn Suspend

Modem Use IRQ

モデムが使用する IRQ と同じ IRQ を選択します。

- NA
- 3
- 4
- 5
- 7
- 9
- 10
- 11

Suspend Mode

サスペンドモードに移行する前の、システム停止期間を設定します。

サスペンドモードでは、消費電力が大幅に節約されます。

- Disabled 設定しない
- 1 Min
- 2 Min
- 4 Min
- 8 Min
- 12 Min
- 20 Min
- 30 Min
- 40 Min
- 1 Hour

HDD Power Down

ハードディスクドライブが、省電力モードに移行する時間を設定します。

- Disabled 設定しない
- 1 Min ~ 15Min

Soft-Off by PWR-BTTN

電源スイッチの用途を設定します。

- Instant-Off 電源スイッチを押すことで、システムの電源のオン・オフを可能にする
- Delay 4 Sec. 電源スイッチを 4 秒押し続けることで、システムの電源をオフにする



お願い

- 工場出荷時には、[Instant-off] に設定されています。[F7] キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Delay 4 Sec.] に設定されますので、[Instant-off] に設定し直してください。

Wake-Up by PME

PME 信号の入力による動作を設定します。

内蔵 LAN の Wake On LAN 機能を使用するためには [Enabled] に設定してください。

- Disabled PME 信号の入力を無視する
- Enabled PME 信号入力で、システムを起動、または省電力モードを解除する



お願い

- 工場出荷時には、[Disabled] に設定されています。[F7] キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

Power On by Ring

Modem Ring を検出したときに本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- Disabled 電源を入れない
- Enabled 電源を入れる



お願い

- 工場出荷時は [Disabled] に設定されています。[F7] キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

Wake Up On LAN

LAN を使用して本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- Disabled 電源を入れない
- Enabled 電源を入れる



お願い

- 工場出荷時は [Disabled] に設定されています。[F7] キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

PWRON After PWR-Fail

停電などの不具合によりシステムがシャットダウンした場合、電源が復帰した後のシステムの状態を設定します。

- Off システムの電源を入れない
- On システムの電源を入れる
- Former-Sts 電源がシャットダウンしたときの状態に戻す

CPU Thermal-Throttling

CPU Thermal-Throttling の値を設定します。

- 87.5%
- 75.0%
- 62.5%
- 50.0%
- 37.5%
- 25.0%
- 12.5%

Resume by Alarm

省電力モードの状態から、通常の状態に戻す日時を設定します。

- Disabled 設定しない
- Enabled 通常の状態に戻す日、時間を設定する

Date (of Month) Alarm

[Resume by Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、省電力モードから、通常の状態に戻す日を設定できます。

Time (hh:mm:ss) Alarm

[Resume by Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、省電力モードから、通常の状態に戻す時間、分、秒を設定できます。

Primary IDE 0 | Primary IDE 1

Secondary IDE 0 | Secondary IDE 1

それぞれの IDE インタフェースにアクセスしたときに省電力モードを解除するかどうかを設定します。

- Disabled 解除しない
- Enabled 解除する

FDD, COM, LPT Port

それぞれのポートにアクセスしたときに省電力モードを解除するかどうかを設定します。

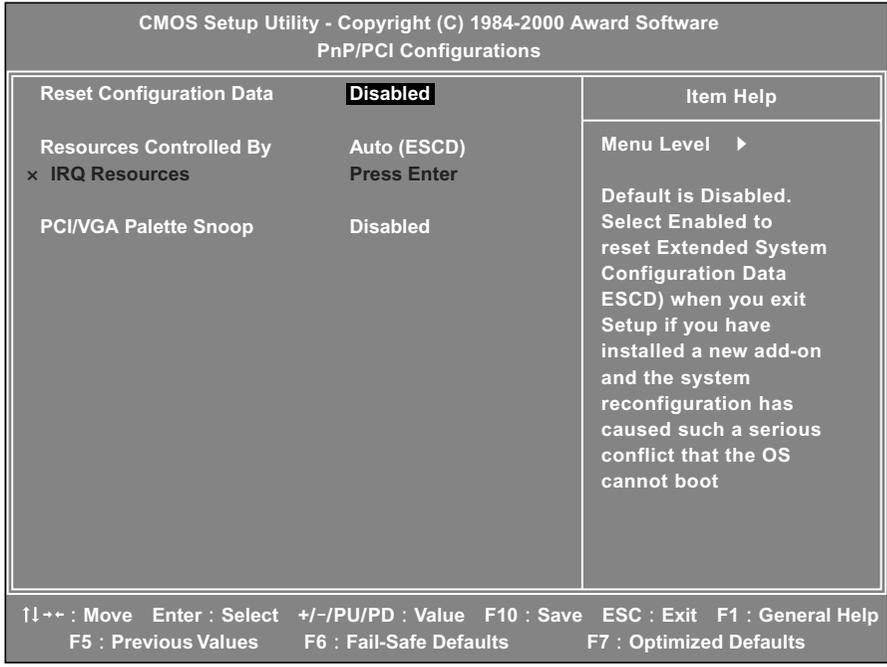
- Disabled 解除しない
- Enabled 解除する

PCI PIRQ [A-D]

それぞれの IRQ にアクセスしたときに省電力モードを解除するかどうかを設定します。

- Disabled 解除しない
- Enabled 解除する

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。



(注) 画面は一例です。

Reset Configuration Data

CMOS のシステム構成情報を初期化するかどうかを設定します。市販の PC カードを増設したときなど、システムが正常に起動しない場合に使用します。[Enabled] に設定し、再起動してください。

- Disabled 初期化しない
- Enabled 初期化する

Resources Controlled By

システムリソースの割り当てを自動的に行うかどうかを設定します。

- Auto (ESCD) 自動的に割り当てる
- Manual IRQ を割り当てる

IRQ 3,4,5,7,9,10,11,12,14,15

[Resources Controlled By] が [Manual] に設定されている場合、IRQ を割り当てます。[Enter] キーを押すと、次のメニューが選択できます。

- PCI Device
- Reserved

PCI/VGA Palette Snoop

VGA パレットの色調整について指定します。

- Disabled 指定しない
- Enabled 指定する



PC Health Status の詳細

本装置の動作状態を表示します。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software		
PC Health Status		
	Disabled	Item Help
CPU Warning Temperature	Disabled	
Current System Temp.	XX /XX °F	
Current CPU1 Temperature	XX /XXX °F	Menu Level ▶
Current CPUFAN1 Speed	XXXX RPM	
Current CPUFAN2 Speed	X RPM	
IN0(V)	X.XX V	
IN1(V)	X.XX V	
IN2(V)	X.XX V	
+ 5 V	X.XX V	
+12 V	XX.XX V	
-12 V	-XX.XX V	
- 5 V	-X.XX V	
VBAT(V)	X.XX V	
5VSB(V)	X.XX V	
Shutdown Temperature	Disabled	

↑↓+ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help
F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults

(注) 画面は一例です。

CPU Warning Temperature

本装置内の温度が上昇したとき、警告メッセージを表示する温度を設定します。

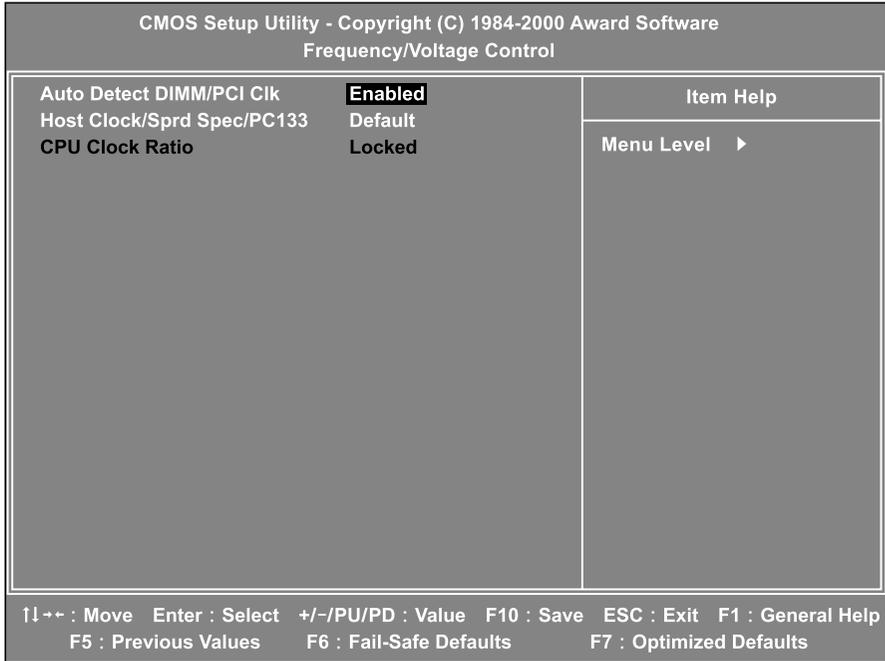
- Disabled メッセージを表示しない
- 50 /122° F
- 53 /127° F
- 56 /133° F
- 60 /140° F
- 63 /145° F
- 66 /151° F
- 70 /158° F

Shutdown Temperature

本装置内の温度が上昇したとき、自動的にシャットダウンする温度を設定します。

- Disabled シャットダウンしない
- 60 /140° F
- 65 /149° F
- 70 /158° F
- 75 /167° F

CPU やメモリのクロック数を設定します。



(注) 画面は一例です。

Auto Detect DIMM/PCI Clk

メインメモリのクロックおよび PCI クロックを自動的に設定するかどうかを設定します。

- Enabled 自動設定する
- Disabled 自動設定しない

Host Clock/Sprd Spec/PC133

CPU 入力クロックの選択、Sprd Spec を使用するかどうか、PC133 を使用するかどうかを設定します。

- Default 既定値
- 133Mhz/0.45%/Yes
- 140Mhz/Off/Yes
- 144Mhz/Off/No
- 146Mhz/Off/No
- 150Mhz/Off/Yes
- 157Mhz/Off/No
- 160Mhz/Off/No
- 166Mhz/Off/No



• [Default] 以外の設定に変更すると、誤動作する場合があります。通常は変更しないでください。

CPU Clock Ratio

CPU の動作クロック数を設定する項目です。
本装置では、変更できません。

- ・ Locked

11 Password の設定

パソコン本体にパスワードを設定して、他の人がパソコンを使用したり、設定を変えたりできないようにできます。

電源投入時にパスワードを正しく入力しないとパソコン本体は使用できません。

パスワードにはユーザパスワード (User Password) と管理者用パスワード (Supervisor Password) の 2 つがあり [Set User Password] ではユーザパスワードを、[Set Supervisor Password] では管理者用パスワードを設定できます。

パスワードを設定している場合、パソコンを起動すると「Enter Password : 」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力し、**[Enter]** キーを押すと画面が表示されます。

パスワードが必要な場合は、パスワードを入力する画面が表示されたときに**[Enter]** キーを押します。

ユーザパスワードを設定した場合、ユーザパスワードでの起動時に BIOS セットアップにて設定できる項目が制限されます。

1 文字から 8 文字までのパスワードを設定します。キーボードから入力しているとき、入力した文字は表示されません。



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードは表示されませんので、確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。パスワードの解除は有償で行なっています。また、そのとき身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。

Set Supervisor Password

管理者パスワードの設定、変更を行います。

Enter Password :

設定したいパスワードを入力します。

パスワードは 1 文字から 8 文字で入力してください。

入力した文字は「* * * *」で表示されます。

Confirm Password :

[Enter Password :] でパスワードを入力後、**[Enter]** キーを押すと表示されます。

確認のためパスワードを再入力します。

入力後、**[Enter]** キーを押すとパスワードが設定されます。



メモ

- ・管理者パスワードを使用しているときは、BIOS セットアップのすべての項目を設定できます。

パスワードの変更

「Confirm Password : 」と表示されたとき、新しいパスワードを入力します。

[Enter] キーを押すと、「Enter Password : 」と表示されますので、再度パスワードを入力してください。

その後 [Enter] キーを押すと、「Confirm Password : 」と表示されます。

もう一度パスワードを入力し、[Enter] キーを押すと、パスワードが変更されます。

パスワードの削除

「Enter Password : 」と表示されたとき、[Enter] キーを押します。

「PASSWORD DISABLED !!! Press any key to continue...」と表示されますので、何かキーを押してください。

パスワードが削除されます。

Set User Password

ユーザパスワードの設定、変更を行います。

Enter Password :

設定したいパスワードを入力します。

パスワードは 1 文字から 8 文字で入力してください。

入力した文字は「****」で表示されます。

Confirm Password :

[Enter Password :]でパスワード入力後、[Enter] キーを押すと表示されます。

確認のためパスワードを再入力します。

入力後、[Enter] キーを押すとパスワードが設定されます。



メモ

・ユーザパスワードでパソコンを起動した場合は、BIOS セットアップで設定変更できる項目は制限されます。

パスワードの変更

「Confirm Password : 」と表示されたとき、新しいパスワードを入力します。

[Enter] キーを押すと、「Enter Password : 」と表示されますので、再度パスワードを入力してください。

その後 [Enter] キーを押すと、「Confirm Password : 」と表示されます。

もう一度パスワードを入力し、[Enter] キーを押すと、パスワードが変更されます。

パスワードの削除

「Enter Password : 」と表示されたとき、[Enter] キーを押します。

「PASSWORD DISABLED !!! Press any key to continue...」と表示されますので、何かキーを押してください。

パスワードが削除されます。

工場出荷時の設定値と既定値の一覧です。

各項目の設定方法については各メニューの詳細をご覧ください。

Standard CMOS Features

項目	工場出荷時の設定値	既定値
IDE Primary Master	(ハードディスク装置名)	
IDE Primary Slave	None	
IDE Secondary Master	(CD-ROM装置名)	
IDE Secondary Slave	None	
Drive A	1.44M, 3.5 in.	
Drive B	None	
Video	EGA/VGA	
Halt On	All, But Keyboard	

Advanced BIOS Features

項目	工場出荷時の設定値	既定値
Virus Warning	Disabled	
CPU Internal Cache	Enabled	
External Cache	Enabled	
CPU L2 Cache ECC Checking	Enabled	
Processor Number Feature	Disabled	
First Boot Device	Floppy	
Second Boot Device	CDROM	
Third Boot Device	HDD-0	
Boot Other Device	Enabled	
Swap Floppy Drive	Disabled	
Boot Up Floppy Seek	Disabled	
Boot Up NumLock Status	On	
Security Option	System	

Advanced Chipset Features

項目	工場出荷時の設定値	既定値
SDRAM CAS Latency Time	3	
SDRAM Cycle Time Tras/Trc	7/9	
SDRAM RAS-to-CAS Delay	3	
SDRAM RAS Precharge Time	3	
System BIOS Cacheable	Disabled	
Video BIOS Cacheable	Disabled	
Memory Hole At 15M-16M	Disabled	
CPU Latency Timer	Enabled	
Delayed Transaction	Enabled	
On-Chip Video Window Size	64MB	
AGP Graphics Aperture Size	64MB	
System Memory Frequency	Auto	

Integrated Peripherals

項目	工場出荷時の設定値	既定値
On-Chip Primary PCI IDE		Enabled
On-Chip Secondary PCI IDE		Enabled
IDE Primary Master PIO		Auto
IDE Primary Slave PIO		Auto
IDE Secondary Master PIO		Auto
IDE Secondary Slave PIO		Auto
IDE Primary Master UDMA		Auto
IDE Primary Slave UDMA		Auto
IDE Secondary Master UDMA		Auto
IDE Secondary Slave UDMA		Auto
USB Controller		Rear
USB Keyboard Support		Disabled
USB Mouse Support		Disabled
Init Display First		PCI Slot
AC97 Audio		Enabled
AC97 Modem		Disabled
IDE HDD Block Mode		Enabled
Onboard LAN Boot ROM		Enabled
Onboard FDC Controller		Enabled
Onboard Serial Port 1		3F8/IRQ4
Onboard Serial Port 2		Disabled
UART Mode Select		Normal
RxD , TxD Active		Hi, Lo
IR Transmission Delay		Enabled
UR2 Duplex Mode		Half
Use IR Pins		IR-R x 2T x 2
Onboard Parallel Port		378/IRQ7
Parallel Port Mode		ECP
EPP Mode Select		EPP1.7
ECP Mode Use DMA		3
Game Port Address		201
Midi Port Address		330
Midi Port IRQ		10

Power Management Setup

項目	工場出荷時の設定値	既定値
ACPI Suspend Type	S3(STR)	
Power Management	User Define	
Video Off Method	DPMS	
Video Off In Suspend	Yes	
Suspend Type	Stop Grant	
MODEM Use IRQ	NA	
Suspend Mode	Disabled	
HDD Power Down	Disabled	
Soft-Off by PWR-BTTN	Instant-off	Delay 4 Sec.
Wake-Up by PME	Disabled	Enabled
Power On by Ring	Disabled	Enabled
Wake Up On LAN	Disabled	Enabled
PWRON After PWR-Fail	Off	
CPU Thermal-Throttling	50.0%	
Resume by Alarm	Disabled	
Date (of Month) Alarm	0	
Time (hh:mm:ss) Alarm	0 0 0	
Primary IDE 0	Enabled	
Secondary IDE 0	Disabled	
Primary IDE 1	Enabled	
Secondary IDE 1	Disabled	
FDD,COM,LPT Port	Disabled	
PCI PIRQ[A-D]#	Disabled	

PnP/PCI Configurations

項目	工場出荷時の設定値	既定値
Reset Configuration Data	Disabled	
Resources Controlled By	Auto (ESCD)	
PCI/VGA Palette Snoop	Disabled	

● PC Health Status

項目	工場出荷時の設定値	既定値
CPU Warning Temperature		Disabled
Shutdown Temperature		Disabled

● Frequency/Voltage Control

項目	工場出荷時の設定値	既定値
Auto Detect DIMM/PCI Clk		Enabled
Host Clock/Sprd Spec/PC133		Default
CPU Clock Ratio		Locked

6

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD が同梱されています。

本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 182
- 2** 標準システムを復元する 183
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 モデル) 186
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 モデル) 188

① カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは

① カスタム・リカバリ CD とは (Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルには次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

- ・ Product Recovery CD-ROM
- ・ アプリケーション & ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリ CD は、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows のみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98 モデル)」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションを再インストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 モデル)」



メモ

・ カスタム・リカバリ CD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリ CD とは (Windows 2000 / NT モデル)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリ CD は何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000 / NT モデルには、アプリケーション CD-ROM (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーション CD-ROM は、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項についてはアプリケーション CD-ROM を CD-ROM 装置にセットし、Autorun 機能により表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・ リカバリ CD / アプリケーション CD-ROM は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）



メモ

- ・Windows 2000 / NT モデルの場合、工場出荷時のパーティション設定は、最初の 4GB が NTFS (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、Windows 2000 の場合は「ディスクの管理」、Windows NT の場合は「ディスクアドミニストレータ」を使用してください。

② 操作手順

● Windows 98 モデルの場合



注意

- ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- ・BIOS セットアップの [Advanced BIOS Features] で [First Boot Device] [Second Boot Device] [Third Boot Device] の設定がご購入の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5 章 BIOS セットアップについて」

- 1** パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずし、フロッピーディスク装置からフロッピーディスクを取り出してください。
- 2** 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM 装置にセットする
- 3** パソコンを再起動する
システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 4** **[1]** キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 5** **[Y]** キーを押す
処理を中止する場合は、**[N]** キーを押してください。
ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

6 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

7 Windows のセットアップを行う

☞ Windows のセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

Windows 2000 / NT モデルの場合



注意

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

・BIOS セットアップの [Advanced BIOS Features] で [First Boot Device] [Second Boot Device] [Third Boot Device] の設定がご購入の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

☞ BIOS セットアップについて ⇨ 「5章 BIOS セットアップについて」

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずし、フロッピーディスク装置からフロッピーディスクを取り出してください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM 装置にセットする

3 パソコンを再起動する

「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。

4 Windows 2000を復元する場合には、**[1]**キーを押す

Windows NTを復元する場合には、**[2]**キーを押す

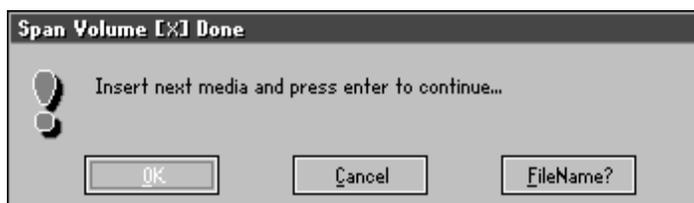
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

5 復元の処理を開始する場合には、**[Y]**キーを押す

処理を中止する場合には、**[N]**キーを押す

6 メッセージに従い、「Product Recovery CD-ROM」を入れ替える

Windows 2000 の復元中に次のメッセージが表示された場合には、「Product Recovery CD-ROM Disk 2」に入れ替えて、**[Enter]**キーを押してください。



復元が完了すると、終了画面が表示されます。

7 CDを取り出し、何かキーを押す システムが再起動します。



・CDをセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出
お願い してからキーを押してください。

8 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98 モデル)

Windows 98 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。



メモ

・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

1 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）

2 操作手順



注意

- ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- ・BIOS セットアップの [Advanced BIOS Features] で [First Boot Device] [Second Boot Device] [Third Boot Device] の設定がご購入の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずし、フロッピーディスク装置からフロッピーディスクを取り出してください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM 装置にセットする

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

4 [2]キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

6 CDを取り出し、何かキーを押す システムが再起動します。



・CDをセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出
お願い してからキーを押してください。

7 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

4

アプリケーションを再インストールする(Windows 98モデル)

Windows 98モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときのQ & A	190
----------	-------------------	-----



1 困ったときのQ & A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、『各システムに付属の説明書』をご覧ください。

アプリケーションソフトをご使用の方は、それぞれの『アプリケーションソフトに付属の説明書』をお読みください。

● 電源が入らない	190
● 正常に起動しない	191
● エラーメッセージが表示される	191
● Windows NT でシャットダウン後電源が切れない	191
● 画面の表示がおかしい	192
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない	193
● マウスの操作ができない	194
● フロッピーディスク装置が使えない	194
● フロッピーディスクが使えない	195
● アプリケーションソフトが使えない	195
● ハードディスク装置が使えない	196
● CD-ROM 装置が使えない	196
● サウンドが鳴らない	197
● 印刷できない	197
● テレビ、ラジオに障害が出る	198
● 省電力機能が正常に動作しない	198
● 異常や故障の場合	198
● どうしてもわからない場合	199

● 電源が入らない

状 況 ● 本体の電源が入らない

確 認 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？

対 処 ● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

確 認 電源ランプは点灯していますか？

対 処 ● 電源スイッチを押してください。

確 認 電源コンセントに電気が通じていますか？

対 処 ● 電気の通じている電源コンセントに差ししてください。

確認 ACスイッチはONになっていますか？

対処 ● 本体背面のACスイッチをONにしてください。

● 正常に起動しない

状況 ● システムが正常に起動しない

確認 PCIカードを増設しましたか？

対処 ● BIOS セットアップの [PnP/PCI Configurations] で [Reset Configuration Data] を [Enabled] に設定してください。
☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5章 BIOS セットアップについて」
● PCIスロットを変更してください。

● エラーメッセージが表示される

状況 ● 起動時にエラーメッセージが表示される

確認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出してから、再起動する

確認 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

対処 ● 電源を切ってから5秒以上待って電源を入れてください。

状況 ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

対処 ● 『アプリケーションソフトに付属の説明書』をご覧ください。

状況 ● 「CMOS Battery Low」というエラーメッセージが表示される

確認 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

対処 ● 内蔵バッテリーを交換してください。
☞ 「4章 11 内蔵バッテリーの交換」

● Windows NT でシャットダウン後電源が切れない

状況 ● Windows NT でシャットダウン後、パソコン本体の電源が切れない

確認 市販のWindows NTを再インストールしましたか？

対処 ● 東芝ソフトウェアパワーオフ機能を再度インストールしてください。
インストールについてはアプリケーションCD-ROMをCD-ROM装置にセットし、Autorun機能により表示される画面に従ってください。

● 画面の表示がおかしい

状況 ● 画面に何も映らない

確認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対処 ● 電源を入れてください。

確認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対処 ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対処 ● ゆるみがないように正しく接続してください。
● グラフィックカード上のコネクタに接続してください。
☞ 「1章 6-3 ディスプレイ（別売り）の接続」

確認 表示自動停止機能が働いていませんか？（Windows 98 / 2000）

対処 ● **Shift** キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確認 USB 機器は接続していますか？

対処 ● 接続されている USB 機器によっては、USB 機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。パソコン本体の電源を入れてから USB 機器の電源を入れてください。

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？

対処 ● ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。
☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」
また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

状況 ● 画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置等が異常である

確認 ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対処 ● 輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？



●ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

☞「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

状況 ●キーボードから入力できない

確認 キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？



●キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

状況 ●どのキーを押しても反応しない



●電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

状況 ●電源を入れ直しても反応しない



●**Ctrl** キーと **Alt** キーを押したまま **Delete** キーを押してください。

状況 ●**Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押しても反応しない



●リセットスイッチを押してください。

状況 ●半角の「`」（チルダ）が入力できない



●**Shift** キーを押したまま **Alt** キーを押してください

状況 ●「£」「¢」「々」などが入力できない



●OADG規格の106キーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。

状況 ●希望の文字が入力できない



●キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

● マウスの操作ができない

状況 ● マウスを操作しても反応しない

確認 マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

対処 ● マウスをマウスコネクタに接続してください。

● フロッピーディスク装置が使えない

状況 ● フロッピーディスクをセットし、**[Ctrl] + [Alt] + [Delete]**キーを押しても（またはリセットスイッチを押しても）、システムが再起動しない

確認 システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

対処 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

確認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対処 ● BIOS セットアップの [Integrated Peripherals] で「Onboard FDC Controller」の設定を「Enabled」に変更してください。

⇒ BIOS セットアップ ⇒ 「5章 BIOS セットアップについて」

● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう一度挿入し直してください。

どうしてもフロッピーディスク装置が使えない場合は、フロッピーディスク装置が故障している場合があるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

状況 ● FDD アクセスランプが消えない

対処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**[Ctrl]**キーと**[Alt]**キーを押したまま**[Delete]**キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみても、それでもFDDアクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● フロッピーディスクが使えない

状況 ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ⇨ 「1章 4-4- 3.5型フロッピーディスク」

状況 ● 「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確認 フォルダは作成されていますか？

対処 ● フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状況 ● 「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

対処 ● 不要なファイルを削除して、やり直してください。
● 別のフロッピーディスクを使用してください。

状況 ● フロッピーディスク装置にフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージの画面が表示される

対処 ● メッセージ画面の [キャンセル] ボタンをクリックしてメッセージ画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

状況 ● フロッピーディスク装置に、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブ A のディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージ画面が表示される

対処 ● メッセージ画面の [いいえ] ボタンをクリックしてメッセージ画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう一度挿入し直して、再度アクセスを行ってください。

● アプリケーションソフトが使えない

状況 ● アプリケーションソフトが思うように動かない

確認 システム構成は正しく設定されていますか？

対処 ● 『アプリケーションソフトに付属の説明書』を読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状況 ●アプリケーションソフトが動かない

確認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？



対処

●システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。
お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

●ハードディスク装置が使えない

状況 ●データの読み / 書きができない



対処

●そのハードディスク装置は故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

●CD-ROM 装置が使えない

状況 ●CD-ROM 装置にアクセスできない

確認 CD-ROM 装置のディスクトレイはきちんとしまっていますか？



対処

●CD-ROM 装置のディスクトレイを正しく格納してください。

確認 CD がきちんとセットされていますか？



対処

●CD-ROM 装置のディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

確認 CD-ROM 装置のディスクトレイに異物はありませんか？



対処

●何かはさまっていたら取り除いてください。

確認 CD が汚れていませんか？



対処

●水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確認 対応していないフォーマットのCD-ROM をセットしていませんか？



対処

●CD-ROM 装置が対応しているフォーマットのCD-ROM をセットしてください。

☞ 「1章 4-3 CD-ROM 装置について」

状況 ● CDが取り出せない

確認 電源が切れていませんか？

対処 ● 電源を入れてから、CD-ROM装置のイジェクトボタンを押してください。

● サウンドが鳴らない

状況 ● 音楽用CDやWAVファイルを再生しても、音が出ない

確認 ボリュームが下がっていませんか？

対処 ● ボリュームコントロールで、音量を確認してください。

確認 スピーカが接続されていますか？

対処 ● 本体背面のLINE OUT端子にスピーカ（別売り）を接続してください。
 ⇨ スピーカの接続方法 ⇨ 「4章5 スピーカ（別売り）の接続」

● 印刷できない

状況 ● プリンタが動作しない

確認 プリンタの電源は入っていますか？

対処 ● 本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

確認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？

対処 ● 正しく接続してください。
 ⇨ プリンタの接続方法 ⇨ 「4章3 プリンタの接続」

状況 ● 画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

確認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？

対処 ● アプリケーションソフト上、またはWindowsのプリンタ設定で正しく設定し直してください。
 ⇨ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』

● BIOSセットアップの[Integrated Peripherals]で[Parallel Port Mode]を正しく設定し直してください。
 ⇨ BIOSセットアップ ⇨ 「5章BIOSセットアップについて」

● テレビ、ラジオに障害が出る

状況 ● テレビ、ラジオの調子がおかしい

確認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？



対処

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。
- 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

● 省電力機能が正常に動作しない

状況 ● 省電力機能が正常に動作しない

確認 市販の PCI カードまたは USB 機器を接続していますか？



対処

- PCI カードまたは USB 機器の種類によっては正常に省電力機能が動作しない場合があります。BIOS セットアップの [Power Management Setup] で [ACPI Suspend Type] を [S1 (POS)] に設定してください。
☞ BIOS セットアップ ☞ 「5 章 BIOS セットアップについて」
- Windows 上の省電力機能を使用しないでください。

● 異常や故障の場合

状況 ● 異常な臭いや過熱に気がついた



対処

- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - 次のところに連絡してください。
 - ・ お買い上げの販売店それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。
 - ・ 使用している機器の名称
 - ・ ご購入年月日
 - ・ 現在の状態
- できるだけ詳細にご連絡ください。

● どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、同梱の『ユーザサポート窓口のご案内』をご覧のうえ、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1	製品仕様	202
2	各インタフェース	209
3	その他の設定	216

1 製品仕様

1 仕様概要

モデルにより多少異なります。

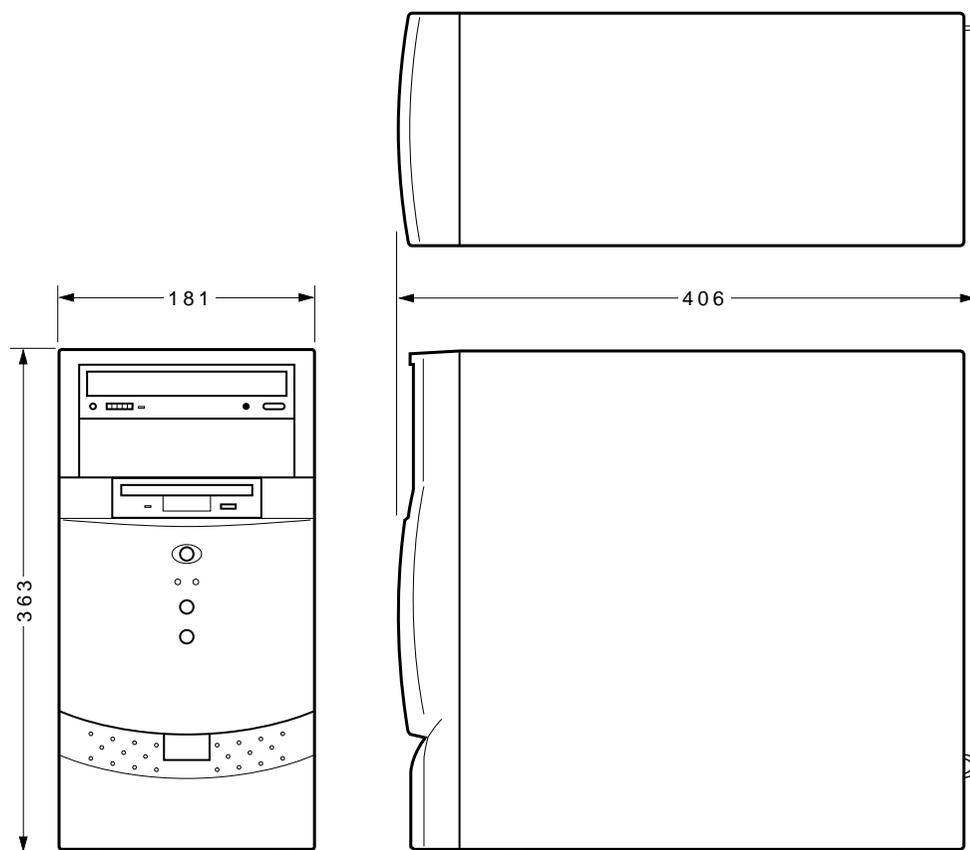
機 種		EQUIUM 6010	
プロセッサ	メインプロセッサ	Pentium III 1GHz	
		・CACHE (32kB) ・FPU内蔵 ・2次CACHE (256kB)	
メモリ	標準メモリ	SDRAM DIMM 128 / 256 / 512MB (133MHz)	
	増設メモリ	DIMMスロット×3 使用可能 SDRAM DIMM 128MB (133MHz)	
	ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)	
表示機能	コントローラ	Matrox Millennium G400	
	ビデオRAM	SGRAM 16MB	
	グラフィック表示 (ノンインタレース)	640×480	256・64k・16M色
		800×600	256・64k・16M色
1024×768		256・64k・16M色	
1280×1024		256・64k・16M色	
1600×1200	256・64k・16M色		
通信機能	伝送速度	100Mbps / 10Mbps	
	適合規格	100BASE-TX / 10BASE-T	
サウンド	コントローラ	Intel i815E Integrated Soft Audio	
補助記憶装置	FDD	標準	3.5型 1台装備 720kB / 1.2MB / 1.44MB (3モード)
		HDD	標準
	増設		内蔵3.5型スロット
	CD-ROM	標準	ATAPI 40倍速 (最大)
入力装置	キーボード	109キー 分離型	
	マウス	2ボタンホイール付き PS/2マウス	
システム制御		PCI (Peripheral Component Interconnect)	
ファイル スロット	3.5型 ドライブキャリア	3スロット (内2つはFDDとHDDで使用)	
	5型 ファイルスロット	2スロット (内1つはCD-ROMで使用)	

機 種		EQUIUM 6010
	シリアル	1ポート D-Sub 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	アナログRGB	1ポート アナログ RGB セパレート信号出力、ミニD-sub15ピン(3列タイプ)
	デジタルRGB	1ポート デジタル RGB DVI準拠
インタフェース	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	2ポート *1
	MIDI/ ジョイスティック	1ポート
拡張スロット	PCI	PCIフルサイズ x 3 *2
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug & Play対応BIOS *1
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	200W
周囲温度	動作	10 ~ 35
	非動作	- 20 ~ 60
相対湿度	動作	20%Rh ~ 80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	20%Rh ~ 90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	181(W) x 406(D) x 363(H) mm
	キーボード	480(W) x 167(D) x 42(H) mm (非チルトアップ時)
質量	本体	約9.8kg
	キーボード	約0.9kg

*1 Windows NTをご使用の場合は、サポートされません。

*2 内蔵3.5インチベイに増設した場合は、290mm以下となります。

2 外形寸法図



(単位 : mm)

3 メモリマップ

アドレス	容量	定義
00000000	512kB	システムボードRAM
00080000	127kB	ユーザ使用可能メモリ
0009FC00	1kB	BIOS設定保存エリア他
000A0000	160kB	ビデオRAM/BIOSエリア他
000C8000	96kB	PCIバス(拡張オプションROM)
000E0000	64kB	BIOSリザーブ
000F0000	64kB	BIOS ROM
00100000	~511MB	システムボードRAMエリア
01000000		

4 I/O マップ

アドレス	サイズ	Plug & Play	I/O
0000-000F	16バイト	N/A	DMA controller
0020-0021	2バイト	N/A	Programmable Interrupt Control
0040-0043	4バイト	N/A	System Timer
0060	1バイト	N/A	Keyboard Controller byte-reset IRQ
0061	1バイト	N/A	System Speaker
0064	1バイト	N/A	Keyboard Controller. CMD/STAT byte
0070-0071	2バイト	N/A	Real-Time Clock
0072-0073	2バイト	N/A	System CMOS
0080-008F	16バイト	N/A	DMA Controller
0092	1バイト	N/A	Fast A20 and PIC
00A0-00A1	2バイト	N/A	PIC
00B2-00B3	2バイト	N/A	APM control
00C0-00D0	32バイト	N/A	DMA
00F0	1バイト	N/A	Numeric data processor
0170-0177	8バイト	NO	Secondary IDE channel
01F0-01F7	8バイト	NO	Primary IDE channel
022-02C7 0208-020F 0210-0217 0218-021F	1-8バイト	YES(Rev 1.1)	Audio/game port
0220-022F	16バイト	YES(Rev 1.1)	Audio
0240-024F	16バイト	YES(Rev 1.1)	Audio
0228-022F*	8バイト	YES	LPT3
0278-027F*	8バイト	YES	LPT2
02E8-02EF*	8バイト		COM4/video (8514A)
02F8-02FF	8バイト	YES	COM2
0320-0327 0330-0337 0340-0347 0350-0357	8バイト		MPU-401 (MIDI)
0376	1バイト	NO	Secondary IDE Channel Command port
0377	1バイト	NO	Secondary IDE Channel Status port
0378-037F	8バイト	YES	LPT1
0388-038B	6バイト		AdLib* (FM synthesizer)
03B0-03BB	12バイト		Intel 82815 Graphics/Memory Controller Hub (GMCH)
03C0-03DF	32バイト		Intel 82815 Graphics/Memory Controller Hub (GMCH)
03E8-03EF	8バイト	YES	COM3
03F0-03F5	6バイト		Diskette channel 1
03F6	1バイト		Primary IDE channel Command port
03F8-03FF	8バイト		Com 1

アドレス	サイズ	Plug & Play	I/O
04D0-04D1	2バイト		Edge/level triggered PIC
One of these ranges: 0530-0537 0E80-0E87 0F40-0F47	8バイト		Windows Sound System
LPTn + 400h	8バイト		ECP port, LPTn base address + 400h
0CF8-0CFB**	4バイト		PCI configuration address register
0CF9***	1バイト		Turbo and reset control register
0CFC-0CFF	4バイト		PCI configuration data register
FFA0-FFA7	8バイト		Primary bus master IDE registers
FFA8-FFAF	8バイト		Secondary us master IDE register

* BIOS 既定値。変更可能

** Doubled Word アクセスのみ可能

*** Byte アクセスのみ可能

5 割り込みレベル・DMAチャンネル

● 割り込みレベル

IRQ	Channel
0	interval timer
1	keyboard
2	Interrupt
3	COM2
4	COM1
5	LPT2 / audio / User
6	Diskette drive controller
7	LPT1
8	Real time clock
9	User
10	User
11	User
12	Onboard mouse port
13	math coprocessor
14	Primary IDE
15	Secondary IDE

ソフトウェアによって変更される場合があります。

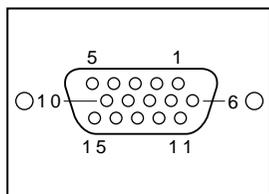
● DMA チャンネル

DMA	幅	Channel
0	8/16ビット	Audio
1	8/16ビット	Audio / Prallel Port
2	8/16ビット	Diskette drive
3	8/16ビット	Parallel Port (for ECPorEPP) / audio
4	-----	DMA controller
5	16ビット	User
6	16ビット	User
7	16ビット	User

② 各インタフェース

① アナログRGB インタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	Unused	未使用	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	+5V	電圧	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	未使用	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

② アナログRGB インタフェースの同期信号

● 解像度・色数・走査線

解像度	640×480		800×600		1024×768	
色数	256・32k・64k・16M		256・32k・64k・16M		256・32k・64k・16M	
走査方式	Ni	NiFF	NiFF	NiFF	NiFF	NiFF
水平同期(KHz)	31.5	43.3	46.9	53.7	60.0	68.7
垂直同期(Hz)	60.0	85.0	75.0	85.0	75.0	85.0

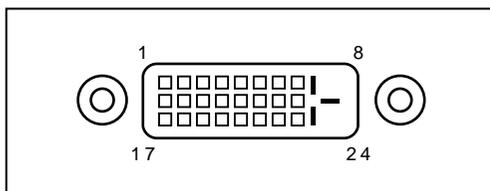
解像度	1280×1024		1600×1200	
色数	256・32k・64k・16M		256・32k・64k・16M	
走査方式	Ni	NiFF	Ni	NiFF
水平同期(KHz)	64.0	91.1	75.0	87.5
垂直同期(Hz)	60.0	85.0	60.0	70.0

- ・色数 256 : 256 色、32k : 32,768 色、64k : 65,536 色、16M:1,677 万色
- ・走査方式 Ni : ノンインタレース、NiFF : ノンインタレースフリッカフリー

ご使用になれる解像度、色数は、接続するディスプレイによって異なります。

☞ 詳細について ☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

3 デジタルRGB インタフェース

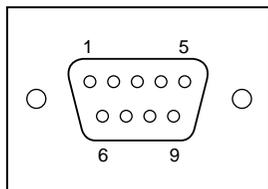


ピン番号	意味	ピン番号	意味
1	T.M.D.S.データ2 -	13	T.M.D.S.データ3 +
2	T.M.D.S.データ2 +	14	電圧5V
3	T.M.D.S.データ2/4シールド	15	信号グラウンド (5V用)
4	T.M.D.S.データ4 -	16	ホットプラグ信号
5	T.M.D.S.データ4 +	17	T.M.D.S.データ0 -
6	DCCクロック信号	18	T.M.D.S.データ0 +
7	DCCデータ信号	19	T.M.D.S.データ0/5シールド
8	未使用	20	T.M.D.S.データ5 -
9	T.M.D.S.データ1 -	21	T.M.D.S.データ5 +
10	T.M.D.S.データ1 +	22	T.M.D.S.クロックシールド
11	T.M.D.S.データ1/3シールド	23	T.M.D.S.クロック信号 +
12	T.M.D.S.データ3 -	24	T.M.D.S.クロック信号 -

デジタルRGB ディスプレイの最大解像度は1024 × 768 ドットです。

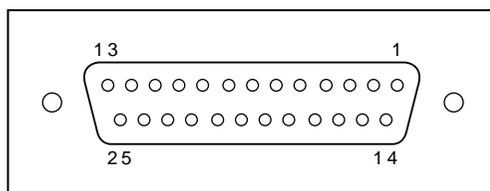
4 シリアルインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グラウンド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

5 パラレルインタフェース



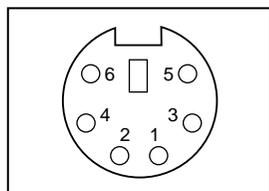
(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PD0～PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2～9	PD0～PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18～25	GND	信号グランド	

付
録

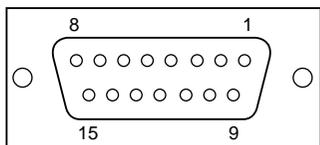
6 キーボード・マウスインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



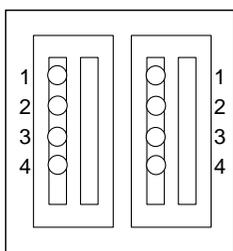
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グランド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

7 MIDI/ ジョイスティックインタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	Joy Stick But 0	I/O
3	Joy Stick x 1	I/O
4	GND	
5	GND	
6	Joy Stick Y1	I/O
7	Joy Stick But 1	I/O
8	+5V	
9	+5V	
10	Joy Stick But 2	I/O
11	Joy Stick x 2	I/O
12	MIDI OUT	I/O
13	Joy Stick Y2	I/O
14	Joy Stick But 3	I/O
15	MIDI IN	I/O

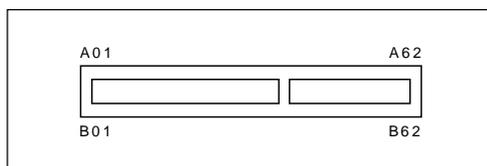
8 USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

9 拡張スロット

PCIタイプカード



● 拡張スロット

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	+3.3V aux	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		PME#	
20	AD [31]	I/O	AD [30]	I/O
21	AD [29]	I/O	+3.3V	
22	GND		AD [28]	I/O
23	AD [27]	I/O	AD [26]	I/O
24	AD [25]	I/O	GND	
25	+3.3V		AD [24]	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
26	C/BE〔3〕#	I/O	IDSEL	I
27	AD〔23〕	I/O	+3.3V	
28	GND		AD〔22〕	I/O
29	AD〔21〕	I/O	AD〔20〕	I/O
30	AD〔19〕	I/O	GND	
31	+3.3V		AD〔18〕	I/O
32	AD〔17〕	I/O	AD〔16〕	I/O
33	C/BE〔2〕#	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	予約	I/O
41	+3.3V		予約	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE〔1〕#	I/O	AD〔15〕	
45	AD〔14〕	I/O	+3.3V	
46	GND		AD〔13〕	I/O
47	AD〔12〕	I/O	AD〔11〕	I/O
48	AD〔10〕	I/O	GND	
49	GND		AD〔09〕	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD〔08〕	I/O	C/BE〔0〕#	I/O
53	AD〔07〕	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD〔06〕	I/O
55	AD〔05〕	I/O	AD〔04〕	I/O
56	AD〔03〕	I/O	GND	
57	GND		AD〔02〕	I/O
58	AD〔01〕	I/O	AD〔00〕	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64C#	I/O	REQ64C#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

● 拡張スロットの電流容量

拡張スロット全体（オプションカード、5 型装置のすべてを含む）で使用可能な電流容量は次のとおりです。

拡張スロットの取り付けの際は、次の制限を必ず守ってください。

拡張スロットの許容電流値

電流容量	拡張スロットの合計
+5V	8A以下
+12V	2A以下
-12V	0.3A以下
+3.3V	8A以下

③ その他の設定

① Windows 98 モデル

● DDC 機能について

EQUIUM シリーズでは、VESA (Video Electronics Standard Association) 準拠の DDC (Display Data Channel) 機能を持っており、プラグアンドプレイに対応していません。DDC 機能とは、モニタとの通信機能のことです。

ただし、ディスプレイが対応していない場合は、DDC 機能は使用できません。『ディスプレイに付属の説明書』でご確認ください。

● DirectX について

● DirectX のインストールについて

ゲームなどをインストールするときに、DirectX のインストールを促す画面が表示される場合がありますので、ドライバを置き換えないことをおすすめします。

インストールをする場合は、内容をよく理解したうえで、お客様の責任においてインストールを行なってください。本装置にはすでに DirectX7 ドライバがインストールされております。



メモ

・DirectX7 を置き換えてしまった場合、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

● ディスプレイアダプタの設定について

画面が正しく表示されない場合、次の「ディスプレイアダプタの確認」でディスプレイアダプタの設定内容を確認してください。工場出荷時の設定は次のとおりです。

ディスプレイアダプタ : Matrox Millennium G400-Japanese

ディスプレイアダプタの設定が異なる場合は、アプリケーション CD からインストールし直してください。

☞ アプリケーション CD からのインストール

⇒ 「6 章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98 モデル)」



メモ

・ディスプレイアダプタが変更された状態のままでは、他のアプリケーションソフトが正常に動作しない場合があります。

ディスプレイアダプタの確認

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックする

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 [画面] アイコンをダブルクリックする

[画面のプロパティ] 画面が表示されます。

3 [設定] タブをクリックする



4 [詳細] ボタンをクリックする

[XXXXX (ディスプレイアダプタ名) のプロパティ] 画面が表示されます。



5 [アダプタ] タブをクリックする

[Matrox Millennium G400-Japanese] が表示されているか確認し、[キャンセル] ボタンをクリックして作業を完了します。

ディスプレイアダプタの変更方法

1 「アプリケーション&ドライバCD-ROM」をセットする

2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

2 Windows NT モデル

Service Pack6 のインストールについて

ネットワークドライバなどを追加 / 変更した場合に、Service Pack6 を再インストールする必要があります。

次の手順に従って、インストールを行なってください。

- 1 Administrators グループのユーザアカウントでログオンする
- 2 「Windows NT Service Pack 6a Disc1」の CD をセットする
- 3 [スタート] ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 4 「D:¥i386¥UPDATE¥Update.exe」と入力する
「D:」はCD-ROM ドライブの場合です。
- 5 [OK] ボタンをクリックする
インストールが開始されます。表示されるメッセージに従ってインストールしてください。
インストールが完了すると、メッセージが表示されます。
- 6 [再起動] ボタンをクリックする
パソコンを再起動します。